

南アフリカ

団体名 南アフリカろう連盟 (DeafSA)

概要

人口 4999 万 (2010 年現在)

首都 ・ プレトリア (行政)
ブルームフォンテン (司法)
ケープタウン (立法)

ろう者

全国ろう者協会

- ・ 南アフリカろう連盟 (DeafSA)

ろう者人口

- ・ 60 万 (ろう者、難聴者、中途失聴者含む)

権利を守る法律

- ・ 南アフリカ憲法 権利章典
- ・ 国連障害者権利条約
- ・ 雇用均等法

ろう教育

- ・ 多くの場合、4 歳くらいまでに失聴、難聴であるという診断がなされるが、最悪 8 歳で診断されることもある。
- ・ ろう児はほとんど言語を知らない状態でグレード R (訳注 1 年間の就学前教育) に入る。
- ・ 南アフリカでは 10 人に 1 人が何らかの聴力損失を持って生まれる。
- ・ 平均的なろう者の卒業時点での読書年齢は 8 歳レベルである。
- ・ ろうコミュニティの 75% がうまく読み書きできない。
- ・ ろうコミュニティの 70% は仕事についていない。
- ・ ろう学校 64 のうち 12 校だけが 12 学年まであり、3 つの州に集中している。
- ・ 南アフリカの 3 つの FET カレッジ (拡大教育・訓練カレッジ) だけが SASL 通訳者を雇用している。
- ・ 手話が流暢に使えるろう学校教師は全体の 14% のみである。
- ・ 学校の教科に SASL (南アフリカ手話) はない
- ・ SASL (南アフリカ手話) は 1996 年の学校法で教授手段として認められている。

手話

- ・ 南アフリカ手話 (SASL)

音声言語

・アフリカーンス語・英語（南アフリカ英語）・ンデベレ語・北ソト語・ソト語・

スワジ語・ツォンガ語・ツワナ語・ヴェンダ語・コサ語・ズールー語

手話通訳者

人数

人種	男	女	CODA	男	女	訓練済み	男	女	コミュニティ	州	国	認定済み	男	女
黒人	21	48		1	11		6	25	37	24	8		1	1
白人	4	16		3	7		4	9	6	2	12		0	2
カラド	2	7		1	3		0	5	3	3	3		0	0
インド	0	2		0	0		0	1	1	0	1		0	0
計	27	73	5	21	10	40	47	29	24	1	3			

通訳者組織

・ない、が南アフリカには「Mzansi DiToloki」という団体がある。これはフェイスブックやBBMなどに参加して SASL 通訳についての情報を共有できるような一般団体で半年ごとの会報も出している。

会員数

- ・誰でも参加できる
- ・フェイスブックの現会員数：56 人
- ・BBM の現会員数：22 人

通訳者養成について

・養成事業は現在 UFS(フリーステート大学)、WITS(ウィットウォーターランド大学)と NWU (ノースウェスト大学)が行っている。

○NWU 登録コース

- ・通訳入門 ・ 8 単位 ・ NQF (国家資格) レベル 5
- ・ SASL 通訳：レベル 1 ・ 24 単位 ・ NQF レベル 7
- ・ 通訳：レベル 2 (上級) ・ 32 単位 ・ NQF レベル 7

通訳者試験／評価について

・コースを修了した通訳者は下記に基づいた評価がなされる

言語能力	: ボキャブラリー、文法、純正
内容／メッセージ	: メッセージの忠実性、正確性、明確性
通訳技術	: 流暢な弁舌、躊躇、時間的ずれ、気に障る癖、アイコンタクト
専門職たる行動	: 準備、論題についての知識、態度、服装規定

- ・ 学生はまた養成終了時に理論試験で論文をかく

通訳者認定／資格について

SASL 通訳者は南アフリカ翻訳者協会 (SATI) の認定を受ける。SASL 通訳者は全国的な基準で認定される。現在の認定 SASL 通訳者は 4 人のみである。

これからの活動

- ・ SASL 通訳者のための CPD (専門職継続開発プログラム) のシステム確立のため、SATI と協働する。これにより、認定通訳者が通訳職を実践しながら成長することを確実にできるだろう。

2007 年以降の主要な成果

- ・ SASL 通訳者対策と法制化政策 (2008 年)
- ・ 初回南アフリカろう通訳者公式養成 (2009/2010 年)
- ・ 初回レベル 2SASL 通訳者養成 (2009/2010 年)
- ・ 初回 SASL 通訳者のためのメンターモデルの開発 (2009/2010 年)
- ・ 半年ごとの Mzansi DiToloki 会報配布 (2010/2011 年)
- ・ SASL 手話通訳者法制化のための EPS (倫理実践システム) の開発 (2011 年)
- ・ CPD システム草案・・進行中
- ・ OSISA (南部アフリカオープンソサエティイニシアティブ) の国々の通訳者養成 (アフリカの他国へ向けて)

今後の目標

- ・ 全 SASL 通訳者の様々なレベルでの全国認定協会確立 (州と国)
- ・ EPS システムの使用についての認識訓練 (ろう者と健聴者)
- ・ ろう通訳者の役割と利用についての認識訓練
- ・ SASL 通訳者の募集についてろう者にサービスを提供する国の機関に向けて認知訓練

手話通訳の現状

DeafSA の資料によれば、登録通訳者 100 人

訓練を受けた者 50 人、受けていない者 50 人、認定通訳者 4 人、訓練を受けたろう通訳者 4 人

業績

- ・ SABC（南アフリカ放送協会）のニュース（17：30, 20：30）で通訳者を提供
- ・ ETV ニュース（18：00, 22：00）で通訳者を提供
- ・ SABC で放送された地方選挙で通訳者を提供
- ・ SABC の国家行事（国家、予算講演など）で通訳者を提供
- ・ 5 人の SASL 通訳者が議会で任命された

課題

- ・ 訓練を受けていない SASL 通訳者が「SASLI 専門職」として実践していること
- ・ SASLI の料金規定が未調整であること

ろう社会の現状

- ・ 12 番目の公用語として SASL が公認されていないこと（進行中）
- ・ ろう教育の問題（進行中）
- ・ 南アフリカには 600,000 人のろう者がいる
- ・ 6,000 人のろう者に通訳者が 1 人となる
- ・ 地方に住むろう者は専門職の SASLI を利用する機会がない

2007 年以降の 2 大事業

- ・ 南アフリカ初のろう通訳者養成が行われたこと（2009/2010）
- ・ レベル 2 の SASL 通訳者の養成が初めて行われたこと（2009/2010）

手話通訳者コミュニティの 2 大課題

- ・ 地域協会維持や自発的協会運営方法の困難さのなかで、SASLI が全国組織を立ち上げられるように支援を求めるロビー活動が進行中である
- ・ ろう者を利用している専門職らしくないご都合主義的な SASLI を統制すること

今後の 2-4 年で WASLI に貢献できること

新通訳者の養成や発展の為にメンターモデル、特に途上国に見合うもの

これからの 2-4 年で WASLI が南アフリカに提供できること

全国組織確立の維持のガイドラインと支援